

多摩区



■人口 214,306 人 ■世帯数 106,435 世帯
 ■面積 20.39 km² (平成 28 年 3 月 1 日現在)
※人口・世帯数は平成 27 年国勢調査速報値を基にして推算

多摩区の木



「ハナミズキ」 「ナシ」

多摩区の花



「モモ」 「スミレ」

多摩区の概要

かつての稲田村、生田村そして向丘村の一部からなる現在の多摩区は、昭和 47 年に本市が政令指定都市に移行した際に誕生し、市民の公募で区名が決定されました。昭和 57 年の行政区再編では区の西部が「麻生区」として分区し、現在の区域に至っています。

多摩区は本市の西北端に位置し、多摩川によってできた沖積平野と多摩丘陵の丘陵地で形成され、都市部には貴重な「水と緑」に囲まれています。

首都圏を代表する緑豊かな生田緑地には、世界的にも著名な芸術家・岡本太郎の作品を収蔵した「岡本太郎美術館」や、東日本の代表的な古民家を集めた「日本民家園」、世界最高水準の星空を映す「かわさき宙と緑の科学館」、そして世界の子どもたちに愛される「藤子・F・不二雄ミュージアム」と、個性豊かな文化・教育施設が点在し、市内有数の観光名所となっています。

昭和 30 年代に都市化が急速に進んだ菅や中野島の住宅地でも、かつて「多摩川梨」の栽培が盛んだった農村地帯としての景観も随所にしのべられます。

また、市内を南北につなぐ JR 南武線が登戸駅で小田急小田原線と、稲田堤駅では京王相模原線と交差し、都心への交通の便が良いこともあり、区内就業者の約半数が、都内に通勤しています。

さらに、専修大学、明治大学、日本女子大学の 3 つの大学が立地していることも大きな特徴です。



多摩川ニヶ領宿河原堰

多摩区的主要地域資源・魅力等

日本民家園

多摩川サイクリングコース

かわさき宙と緑の科学館

藤子・F・不二雄ミュージアム

岡本太郎美術館

総論

基本構想

基本計画

10年戦略

実施計画
【政策体系別】

実施計画
【区】

進行管理

現状と課題

● 多摩川や生田緑地などの自然環境、歴史や未来を感じる文化施設、そして若さあふれる3つの大学。個性豊かな地域資源が輝いています。

多摩川や二ヶ領用水などの水辺、首都圏でも有数の自然環境を残す生田緑地や多摩川崖線軸の斜面緑地、「藤子・F・不二雄ミュージアム」をはじめとする個性豊かな文化・教育施設、さらには、知的資源や多彩な人材を有する3つの大学など、区内には魅力あふれる地域資源が数多く存在しています。

また、平成23年には多摩スポーツセンターがオープンし、生田浄水場や長沢浄水場では再構築事業が進められ、用地の一部については、有効利用の方向性が示されています。

それぞれが持つ価値を高めながら、まちの活性化につなげていくことが求められています。



秋の生田緑地

● 全市の土砂災害警戒区域のうち23.6%が区内で指定されており、災害への備えを求める区民の意識が高くなっています。

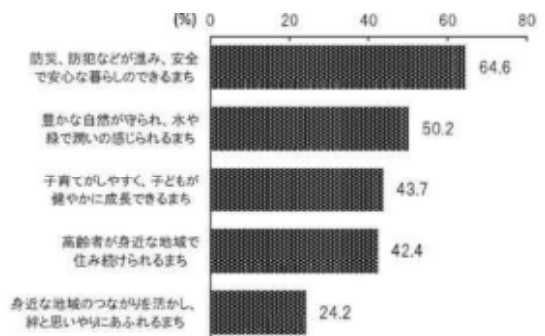
全市で759区域ある土砂災害警戒区域のうち、179区域が多摩区で指定されています（平成27年10月現在）。

区民意識アンケートでは、今後10年程度でめざすべき多摩区のまちのイメージについて、「防災、防犯などが進み、安全で安心な暮らしのできるまち」が64.6%を占め、1位となっています。

新たな総合計画づくりに向けた「川崎の未来を考える市民検討会」でも、「丘陵や斜面の土砂災害が心配である」という意見が寄せられています。

また、区内の交通事故件数は減少しているものの、自転車

事故の割合は高止まりを続け、平成25年度から3年連続で「自転車事故多発地域」に指定されています。今後もより一層、安全で安心なまちづくりを進める必要があります。



10年程度でめざすべきまちのイメージ

資料:平成26年度多摩区区民意識アンケート

● 乳幼児の保護者の77.9%が子育てについて心配や不安を抱いています。

平成26年度に区内で実施された子育て支援に関する事業のうち、子育て支援団体などによる取組が半数以上を占め、行政との協働によるものを含めると80%を超えています。

一方、多摩区こども・子育て実態調査によると、乳幼児の保護者の77.9%が子育てについて心配や不安を抱いており、24.8%が孤立感を感じています。

保護者の育児不安や孤立感の高まりは、虐待のリスクにつながります。子育て支援に関する活発な地域活動を、支援を必要とする保護者に届けるなど、子育て支援団体や関係機関等が連携し、地域が一体となって子育てしやすい環境づくりに取り組むことが重要となっています。



二ヶ領用水での魚つかみ

● 区内には、高齢化率が30%を超える地域があります。

平成22年から5年連続で区内の人口が転出超過となり、特に30代の転出が他区に比べて多くなっています。

「川崎市将来人口推計」では、平成27年をピークに区内の人口が減少に転ずることが予測され、高齢化率については、既に30%を超える地域も点在しています。

また、区内の要支援者・要介護者が年々増加しており、将来にわたって、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で、安心して暮らし続けることのできる地域づくりが求められています。

町丁別高齢化率(上位5町丁)

1	長尾6丁目	33.0%
2	南生田5丁目	30.3%
3	南生田1丁目	30.2%
4	三田3丁目	29.1%
5	生田4丁目	28.6%
多摩区全体		18.6%

平成27年3月現在
資料:市町丁別年齢別人口

● 退職後も地域で人の役に立てる機会づくりを求める声が寄せられています。

区内の昼夜間人口比率は81.9%で、区外に通勤・通学している人が多く、就業者の約48%が都内へ通勤しています。また、町内会・自治会の加入率が微減傾向にあることに加え、市民活動団体を含め、地域で活躍する人材が高齢化・固定化する傾向にあります。

さらに、「川崎の未来を考える市民検討会」では、「仕事を退職した方が、地域で人の役に立てるような機会をつくろう」という意見が寄せられており、市民活動の担い手として、新たな地域人材を発掘・育成していくことが求められています。



区内居住者通勤動向
資料:平成22年国勢調査

● 登戸土地区画整理事業は、平成37年度の事業完了をめざしています。

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、商業・業務の中心地区としてふさわしいまちをめざして、登戸土地区画整理事業が進められています。これまでの進捗率は、仮換地指定率が約73%、宅地使用開始率が約55%となっています(平成27年12月末現在)。長期化する事業を着実かつ効果的に推進し、早期完了させることが求められています。

区画整理事業の進展により、刻々と移り変わるまちの姿を記録し、これまでの賑わいを引き継ぐことで、将来にわたって地域全体の活性化につなげていくことが期待されています。

■ まちづくりの方向性

● 「水と緑と学びのまち ～うるおい豊かな住み続けたいまちへ～」

多摩川やニヶ領用水などの「水辺」、多摩川崖線軸の斜面緑地や生田緑地などの「緑」、そして区内に立地する大学などの知的資源を活かした「学び」など、多摩区は魅力あふれる地域資源の豊かなまちです。

これまで培ってきた多くの魅力や価値を引き継ぎ、高めながら、区民一人ひとりがうるおいやあたたかい地域のつながりを身近に感じ、これからも住み続けたいと実感できる、すこやかに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

総論
基本構想
基本計画
10年戦略
実施計画【政策体系】
実施計画【区】
進行管理

地域の課題解決に向けた主要な取組

● 地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

- ✓ 多摩区観光協会をはじめとする多様な主体と協働し、30代の子育て世代やファミリー層をターゲットに、まちへの愛着や満足度の向上を図り、訪れる人も住む人も、家族で楽しむことのできる賑わいと魅力あるまちづくりを進めます。
- ✓ 多摩区総合庁舎や生田緑地を会場とした音楽イベントなどを開催し、区民が身近に音楽に親しむ場を創出するとともに、区内の音楽家に発表機会を提供し、区民の交流や地域の活性化を図ります。
- ✓ スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流を通じて、地域のスポーツ活動を促進するとともに、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者スポーツの体験などに取り組み、区民の関心を高めていきます。
- ✓ 登戸土地区画整理事業で大きく変わりゆくまちの賑わいを引き継ぎ、さらに発展させることで、魅力あるまちづくりや暮らしやすさの向上を図ります。

事業名	事業内容・目標			
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
観光振興・タウンプロモーション推進事業 多様な主体と協働して「ピクニックタウン多摩区」の取組や地域資源のPRを進め、タウンイメージの向上を図ります。	● 広報物・ホームページ等による地域資源のPR ● 区民との協働による地域観光の活性化の支援 ● 都市間交流の推進 ● 区民自らが区の魅力を発信する取組の実施 ● 区内を周遊し、区の魅力を発見する取組の実施 ● 地域のアイデア・ニーズの具現化 (H27:3件)	● 広報物・ホームページ等による地域資源のPR ● 区民との協働による地域観光の活性化の支援 ● 都市間交流の推進 ● 区民自らが区の魅力を発信する取組の実施 ● 区内を周遊し、区の魅力を発見する取組の実施 ● 地域のアイデア・ニーズの具現化 (1件以上) ● 成果指標に基づく効果検証の実施 ● 藤子・F・不二雄ミュージアム開館5周年と連携した地域活性化の取組の実施	● 効果検証に基づく取組の実施	事業推進
音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業 「たま音楽祭」や「生田緑地★星空コンサート」を開催し、まちの賑わいや地域交流の活性化を推進します。	● たま音楽祭の開催 (H27.12開催) ● 生田緑地★星空コンサートの開催 (H27.9開催) ● たまアトリウムコンサートの開催 (H27:4回)	● たま音楽祭の開催 (H28.12開催予定) ● 生田緑地★星空コンサートの開催 (H28.9開催予定) ● たまアトリウムコンサートの開催 (4回)	● 日本民家園開園50周年に関連した取組の実施	事業推進
多摩区スポーツフェスタ事業 誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供し、地域住民の交流、地域の活性化を進めます。	● 「多摩区スポーツフェスタ」の開催 (H28.3開催) ● 区内地域団体、スポーツ団体等で構成する実行委員会による企画・運営	● 「多摩区スポーツフェスタ」の開催 (H29.3開催予定) ● 区内地域団体、スポーツ団体等で構成する実行委員会による企画・運営 ● 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組の検討・実施	● 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組の実施	事業推進

事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
登戸・向ヶ丘遊園駅 周辺地区賑わい継 承事業 区画整理事業推進中 のまちの姿を記録する とともに、歴史を留め る写真などの収集、保 存、活用に取り組みま す。	<ul style="list-style-type: none"> ●「賑わい継承事業基本方針」の検討、策定 ●区画整理区域内での定点撮影の実施 ●写真の募集、デジタルアーカイブの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針に基づく取組の実施 ●区画整理区域内での定点撮影の実施 ●写真の募集、デジタルアーカイブの実施 ●ホームページによる情報発信の準備、試行実施 ●賑わいを継承する取組の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページによる情報発信の本格実施 ●賑わいを継承する取組のモデル実施・検証 	事業推進

局と連携した取組	取組内容	
地域のスポーツ資源 を活用したまちづく りの推進	地域のスポーツ資源を活用し、スポーツに親しみ、楽しむ機会を提供するとともに、スポーツ活動を通じた仲間づくりや区民同士の交流を図るなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくりを推進します。	
	多摩川プラン推進事業 (建設緑政局)	重点プロジェクトの1つである「多摩川の風景とともに歩むプロジェクト」として、サイクリングコースの連続性を確保するため、多摩区布田地区から稲城市までの延伸整備を行うとともに、自転車と歩行者が安全に利用できるよう、通行方法について利用者に周知します。
	浄水場用地の有効利用 事業 (上下水道局)	生田浄水場用地の一部について、将来の更新用地として活用するまでの間、有効利用を図るため、「環境への配慮」と「地域のまちづくりに貢献」の2つの基本的な考え方にに基づき、平成31年度以降の供用開始に向けて、緑豊かな親水広場や多目的広場、スポーツ広場などの整備に取り組みます。

● 災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

- ✓ 発生予測が困難な災害に対しては、平常時から、発災時の被害を減少させる備えや速やかな復旧に向けた対策の強化が重要です。実践的な訓練などを通して、自主防災組織をはじめとした地域の防災力の強化に取り組みます。
- ✓ 警察、学校を中心に関係機関・団体との地域連携を推進し、防犯パトロール活動の支援や啓発イベントを開催することで、犯罪発生を抑止に取り組みます。
- ✓ 従来の方式とあわせてスケアードストレート方式の交通安全教室を開催するなど、自転車の安全利用マナーアップ促進に取り組み、児童生徒の交通安全意識の定着を図るとともに、地域住民の交通事故防止、交通ルール遵守の啓発に取り組みます。

事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
市民防災活動支援 事業 地域防災活動の中心 的な役割を担う自主防 災組織への支援を行 い、地域の防災力の 向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織、避難所運営会議が主催する各種訓練への支援の実施 ●訓練未実施組織への支援の実施 (H27:5回) ●防災リーダー育成研修の実施 (H28.1開催) ●防災セミナー、防災フェアの開催 (H27.12開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織、避難所運営会議が主催する各種訓練への支援の実施 ●訓練未実施組織への支援の実施 (5回以上) ●防災リーダー育成研修の実施 (H28.11開催予定) ●防災セミナー、防災フェアの開催 (H28.12開催予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で安心なまちづくりに関する新たなイベントの開催 	事業推進

総論

基本
構想

基本
計画

10年
戦略

実施
計画
【政策体
系別】

実施
計画
【区】

進行
管理

事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15) 年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
多摩区危機管理事業 多摩区防災連絡会議を通じて関係機関との連携を強化するなど、区全体の総合的な危機管理機能の向上を図ります。	●区本部訓練、職員参集訓練、情報伝達訓練の実施 ●土砂災害警戒区域等への土砂災害対策、雪害対策の実施 ●多摩区防災連絡会議の開催 (H27.7 開催)	●「(仮称)多摩区防災基本方針」の検討、策定 ●区本部訓練、職員参集訓練、情報伝達訓練の実施 ●土砂災害警戒区域等への土砂災害対策、雪害対策の実施 ●多摩区防災連絡会議の開催 (H28.5 開催予定)	●「(仮称)多摩区防災基本方針」に基づく取組の推進	事業推進
多摩区安全・安心まちづくり事業 地域、警察、消防と連携し、防犯や交通事故抑止に取り組み、安全で安心して生活できるまちづくりを推進します。	●防犯セミナーの実施 (H28.1 開催) ●パトロール支援の実施 ●メール配信システム利用促進の実施	●防犯セミナーの実施 (H28.12 開催予定) ●パトロール支援の実施 ●メール配信システム利用促進の実施	●安全で安心なまちづくりに関する新たなイベントの開催	事業推進
自転車利用マナーアップ促進事業 スケアードストレート方式の交通安全教室の開催など、幅広い年代に対して交通安全意識の定着を図る取組を推進します。	●スケアードストレート方式の交通安全教室の開催 (H27:3 回) ●小学生から募集した交通安全標語を活用した啓発の実施 ●高齢者向け交通安全教室の開催 (H27:2 回)	●スケアードストレート方式の交通安全教室の開催 (3 回以上) ●小学生から募集した交通安全標語を活用した啓発の実施 ●高齢者向け交通安全教室の開催 (3 回以上)		事業推進

● たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

- ✓ 少子化の進展や女性の社会進出等、子どもや家庭を取り巻く環境が変化する中で、子育て家庭が抱える課題や多様なニーズに対し、きめ細やかで的確な対応が求められています。
- ✓ 多摩区における子育て支援団体や関係機関の共通目標を定めた「多摩区こども支援基本方針 たまっ子プラン」に基づき、課題やニーズを把握し、多様な主体が連携して地域全体で総合的な子ども・子育て支援の取組を推進します。
- ✓ 生田緑地などの多摩区の自然環境を活用した外遊びの推進や、世代交流を視野に入れた人材育成の実施など、人のつながりづくりを通して、地域と一体となった子育て支援の取組を推進します。
- ✓ 親子がさまざまな子育て支援事業へ参加する中で、気軽に子育ての悩みや不安が相談でき、必要時には専門機関へ適切につながることでできる体制を強化していきます。
- ✓ 待機児童解消を継続する取組として、多摩区独自に作成した「川崎認定保育園ガイドブック」や「保育園の紹介ファイル」等の資料やタブレット端末を活用し、保育所入所申請前の集団説明会や日々の窓口における個別相談を行うなど、申請前からアフターフォローに至るまで、一人ひとりの保育ニーズに寄り添ったきめ細やかな相談支援を実施します。

事業名	現状		事業内容・目標	
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
多摩区子ども総合支援連携事業 子ども・子育て支援団体や関係機関と協力・協働し、地域全体で子ども・子育て支援の取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関・団体と連携した取組の実施 ●多摩区子ども総合支援連携会議の開催(H27:3回) ●地域会議「たまっ子育て会議」の開催(H27:3地域各1回) ●多摩区子育て支援事業の調査・分析の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関・団体と連携した取組の実施 ●子ども・子育て関連ネットワーク会議の開催による情報共有と連携の推進 	→	事業推進
多摩区幼・保・小連携事業 幼稚園・保育所・小学校が連携を図り、一人ひとりの子どもの育ちや成長を一体的に支援し、小学校へのスムーズな入学を促します。	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の相互理解、連携・交流を図るため連絡会の開催(H27:4回) ●幼児・児童の交流活動の推進 ●授業・行事参観、情報交換会の実施 ●保育実習研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の相互理解、連携・交流を図るため連絡会の開催(3回以上) ●幼児・児童の交流活動の推進 ●授業・行事参観、情報交換会の実施 ●保育実習研修の実施 	→	事業推進
公立保育所の地域支援推進事業 地域の子育て支援や公民保育所の交流・連携・人材育成などに取り組み、保育の質の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●保育体験等の地域への子育て支援事業の実施 ●民間保育所等との連携・支援・交流の実施(専門職の会議開催、調理業務研修・あおぞら保育の実施(H27:6か所)) ●公民保育所等の人材育成(職員及び子育て支援者向け研修等の実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育体験等の地域への子育て支援事業の実施 ●民間保育所等との連携・支援・交流の実施(専門職の会議開催、調理業務研修・あおぞら保育の実施(6か所)) ●公民保育所等の人材育成(職員及び子育て支援者向け研修等の実施) 	→	事業推進
多摩区こどもの外遊び事業 公園や広場など、身近な環境の中で、子どもの創造力と社会性を培う「こどもの外遊び」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域理解促進事業の実施 ●人材育成・交流事業の実施 ●地域外遊び活動の支援の実施 ●「こどもの外遊び」の開催(H27:3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域理解促進事業(広報パンフレットの作成・配布等)の実施 ●人材育成・交流事業の実施 ●地域資源を活かした地域外遊び活動の支援の実施(広報支援、物品貸出、スタッフ派遣等) 	→	事業推進
地域子育て交流支援事業 子育て中の親子が気軽に集まれる場を提供するなど、子育ての不安感や負担を相談できる環境の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域サロンの開催(区内4か所) ●保育士・ボランティアの配置による各種健診・相談サポート体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域サロンの開催(区内4か所) ●保育士・ボランティアの配置による各種健診・相談サポート体制の充実 	→	事業推進
幼児の発達支援事業 心理相談員による個別相談を実施するなど、発達に不安がある幼児の支援と保護者の不安感・負担感の軽減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●健診後フォロー教室の開催 ●心理相談員による個別相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●健診後フォロー教室の開催 ●心理相談員による個別相談の実施 ●乳幼児健診の再構築による事業の効果検証と見直し 	→	事業推進

総論

基本構想

基本計画

10年戦略

実施計画
【政策体系別】

実施計画
【区】

進行管理

● すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

- ✓ 今後増加が見込まれる「ケアを必要とする人」に対して、地域全体で助け合いの取組を進めていく必要があります。多摩区の特性を踏まえた「地域包括ケアシステム」の構築をめざし、地域の課題や必要となる資源・機能の把握、区民やボランティア・関係団体などへの「共生の意識」の醸成などに取り組みます。
- ✓ 公園体操をはじめ、区民が主体となった健康づくり・介護予防の取組を促進し、区民同士が支え合い、地域での見守りや交流の活性化を支援します。
- ✓ 認知症を有する人とその家族が、地域の見守りの協力を得て安心して生活できるよう、増加する認知症への理解を促進します。

事業名	現状		事業内容・目標	
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
多摩区地域包括ケアシステム推進事業 地域包括ケアシステムの土台づくりとして、共生の意識の醸成や、地域資源・ニーズの把握、認知症サポートターの養成などに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉に関わりのない市民の意識を高めるイベントの開催 ●情報共有と活動の活性化を目的としたワークショップの開催 (H27:2回) ●小学生に対する認知症サポート講座の開催 (H27:7校) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステム地域資源調査及びモデル事業の開催 ●地域包括ケアシステム周知を目的とした公開講座の開催及び啓発物の作成・配布 ●小・中学生に対する認知症サポート講座の開催 (小学校14校、中学校試行2校以上) 	→ → →	事業推進
健康づくり推進事業 「多摩区健康フェスタ」や中学生を対象とした食育講演会を開催するなど、健康寿命の延伸や食育の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区健康フェスタの開催 (H27.9開催) ●地域資源を活かした食育イベントの開催 (H27.10開催) ●思春期の食育の実施 ●区民向け食育講演会の開催 (H28.2開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区健康フェスタの開催 (H28.9開催予定) ●地域資源を活かした食育イベントの開催 (H28.8開催予定) ●思春期の食育の実施 ●区民向け食育講演会の開催 (H29.2開催予定) 	→ → → →	事業推進
パサージュ・たま開催事業 多摩区総合庁舎アトリウムで、障害者団体や作業所等の活動紹介、作業実演、展示販売等を行い、障害福祉への理解と関心を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区総合庁舎アトリウムを利用した「パサージュ・たま」の開催 (H27:11回) ●チラシ等を使った広報及び普及啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区総合庁舎アトリウムを利用した「パサージュ・たま」の開催 (11回) ●チラシ等を使った広報及び普及啓発の実施 	→ →	事業推進

● 市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

- ✓ 多摩区では平成32年には超高齢社会となり、退職を迎える多くの区民が地域中心の生活に移行することが見込まれています。地域人材の育成・発掘や市民活動団体とのマッチング、市民活動相談の実施など、地域で活躍する新しい人材の輩出に取り組みます。
- ✓ 知的資源や多彩な人材を有する3大学と連携し、在学在住している学生の多摩区への愛着を深め、定住してもらえるような取組や3大学コンサート、キャンパスツアー、公開講座を開催するなど、大学の持つ価値や魅力を活かした取組を推進します。
- ✓ まちづくり協議会と協働した取組や、町内会・自治会活動の支援、市民活動団体からの提案事業の実施など、地域の自治力を高め、区民の参加と協働による暮らしやすい地域社会づくりを進めます。

事業名	現状	事業内容・目標		
	平成 26～27 (2014～15)年度	平成 28(2016) 年度	平成 29(2017) 年度	平成 30(2018) 年度以降
多摩区地域人材育成事業 地域人材の募集や、市民活動に関する研修・相談の実施など、市民活動の活性化と市民の自治力の向上に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域人材・市民活動団体の登録の実施 (H27 登録数:8 件) ●各種研修の実施 ●市民活動・生涯学習活動相談ボランティア養成講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域人材・市民活動団体の登録の実施 ●各種研修の実施 ●市民活動・生涯学習活動相談ボランティア養成講座の開催 	●「多摩区地域人材育成基本方針」の見直し及び次期実施計画の策定	事業推進
多摩区・3 大学連携事業 大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域のさまざまな課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題の解決に向けた取組を推進する大学・地域連携事業の実施 ●3 大学知的探訪（公開講座・キャンパスツアー等）の実施 ●3 大学コンサートの開催 (H27. 11 開催) ●3 大学との協定締結 10 周年事業の実施 ●生田緑地エントランススポットの維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題の解決に向けた取組を推進する大学・地域連携事業の実施 ●3 大学知的探訪（公開講座・キャンパスツアー等）の実施 ●3 大学コンサートの開催 (H28. 10 開催予定) ●生田緑地エントランススポットの維持管理 ●区内在学の大学生に区への愛着を深めてもらう取組である、第 2 のふるさと事業の基本方針の検討、策定 	●「第 2 のふるさと事業基本方針」に基づく取組の試行実施	事業推進
区民との協働によるまちづくり活動実践事業 まちづくり協議会との協働により、まちづくりに関する地域課題の解決への取組や、区内のさまざまなまちづくり活動への支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●まちの課題を解決するプロジェクト活動の実施 ●市民活動団体の支援につながる中間支援的活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちの課題を解決するプロジェクト活動の実施 ●市民活動団体の支援につながる中間支援的活動の実施 		事業推進
地域コミュニティの活性化促進事業 町内会・自治会の抱える課題の解決を支援し、町内会・自治会活動、さらには地域コミュニティの活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●転入者・未加入者の加入に向けた啓発活動の実施 ●大学生等との協働による地域活動の取材・交流 ●ホームページや地域情報紙による町内会・自治会の紹介 ●地域活動に関する講演会等の開催 (H27:2 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ●転入者・未加入者の加入に向けた啓発活動の実施 ●大学生等との協働による地域活動の取材・交流 ●ホームページや地域情報紙による町内会・自治会の紹介 ●地域活動に関する講演会等の開催 (2 回) ●効果検証及び課題解決手法の検討 	●効果検証及び課題解決手法の実施	事業推進
磨けば光る多摩事業 地域課題の解決や、安全で安心・うらおいのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体から事業提案を募集し、協働による取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民提案事業の募集 (H28. 1～2 月) ●公開プレゼンテーションの実施 (H27. 4) ●事業の選定、実施 (H27:5 事業) ●事業報告会の開催 (H28. 3 開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民提案事業の募集 (H29. 1～2 月実施予定) ●公開プレゼンテーションの実施 (H28. 4 実施予定) ●事業の選定、実施 (3 事業以上) ●事業報告会の開催 (H29. 3 開催予定) 		事業推進

- 総論
- 基本構想
- 基本計画
- 10年戦略
- 実施計画【政策体系別】
- 実施計画【区】
- 進行管理

“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

● “あそぼう！たまっ子” ～つながる！たのしい！子育てに向けて～

→ 「ママと遊ぼうパパもね」

乳幼児とその保護者が気軽に集い、遊びや子育てに関する情報交換や、仲間づくりができる場として開催しています。地域に根ざし、参加者の状況に合わせた支援をめざし、公私立認可保育園の職員、地区の民生委員児童委員、主任児童委員と協力し、4か所で各10回、年間40回開催しています（平成27年度）。

開催場所：菅こども文化センター（子育て支援センター^{そら}）
中野島こども文化センター、生田道院、
KFJ多摩すかいきつず



いろいろな情報の紹介、おしゃべりの後は、保育士の手遊びなどで楽しめます。

→ 多摩区公立保育所のイクメンプロジェクト

たまっ子プランの調査では、「父親の育児参加への度合いが高いと、楽しんで子育てできる。」という結果が出ています。そこで、公立保育所の男性保育士を中心に「イクメンプロジェクト」を立ち上げ、各園で「パパーズエンジョイ」「パパと遊ぼう」など父親の子育て支援を促す取組を行っています。



主にお父さんの参加しやすい土曜日を中心に公園や公立保育所で実施しています。

→ 「おいでよ！たまっ子」～あおぞら保育～

「おいでよ！たまっ子」～あおぞら保育～は、多摩区内6か所の公園に行政の保育士が出向き、地域の子育て家庭や公園の近隣にある保育所の園児など、主に2～3歳児を対象として、楽しい子育てや保育のためのさまざまな遊びを行う取組です。

実施公園：生田緑地
下布田公園、菅なかよし公園、登戸第2公園
三田第3公園、緑化センター



公園で音楽に合わせて体操、ふれあい遊び
季節に合わせて水遊びなど♪
たくさん体を動かして遊びます。

● 市民の想い、メッセージ

- ✓ 家庭や地域でさまざまな人材が関わりながら、子どもを孤立させないことが大切です。『伴走者』として、子どもの成長（学習・自尊心・好奇心・集中力・コミュニケーション力・自立など）に地域でしっかり寄り添いましょう。
- ✓ 気軽に相談できる子育ての先輩のネットワークをつくり、みんなで子育て世代をサポートしましょう。

川崎市総合計画市民検討会議より

● ピクニックタウン“多摩区”

多摩区の豊かな自然環境や魅力的な地域資源をPRしながら、これらをつなぐ楽しみ方や過ごし方を提案することで、“ピクニック”をキーワードに地域ブランドを高め、多摩区を訪ねてみたい、住んでみたい、さらには住み続けたい！と思える多摩区の“ファン”を増やしていきます。

→ ピクニックタウンとは何ですか？

(1) いつでも気軽に訪れることができるまち

思い立ったら友だちや家族を誘い合って、いつでも気軽にピクニックが楽しめます。

(2) ゆったり一日過ごせるまち

芝生広場、河川敷、公園など、ピクニックを楽しめる場所がたくさんあります。また、ピクニックの前後に魅力的な文化施設や歴史・伝統ある寺社などを訪れて、一日過ごすこともできます。

(3) 人や地域が“ピクニック”でつながるまち

“ピクニック”という共通のテーマでつながることで、さまざまな活動に広がり生まれ、区民同士が交流し、多世代のコミュニティの輪が広がります。



→ ピクニックタウンの取組が始まったきっかけは？

平成25年度に実施した「多摩区魅力アップ・アイデアコンテスト」で、多摩区の豊富な地域資源を活用するアイデアとして「ピクニックタウン多摩区」が特選を受賞しました。また、区の課題の一つとして、区内の人口の社会減、とくに子育て世代の流出が懸念されています。市民アイデアと多摩区の課題がマッチし、“ピクニック”をテーマにした取組が始まりました。

→ ピクニックタウン＝多摩区で楽しいまちに！

人や地域が“ピクニック”でつながり、公園・施設の管理者、子育てグループなどの市民団体、関連グッズや食べ物のお店などが協力しながら、“ピクニック”を通じて、まちが盛り上がっていく。みんなの力で、まちのイメージがアップし、ブランド力が向上することで、「住んでみたいまち、住み続けたいまち」ピクニックタウン“多摩区”をめざします。



ピクニックできるところがたくさんあるよ♪
みんなで出掛けよう！

● 市民の想い、メッセージ

- ✓ 私たち市民が、川崎の良いところや優れたところを積極的にPRし、一人でも多くの人に川崎の魅力を知ってもらうことが大切です。ICTを活用した情報発信のほか、友人や知人との「人と人とのつながり」を通じたクチコミなどにより、川崎の魅力を伝えるようにしてみましょう。

川崎市総合計画市民検討会議より

総論

基本
構想基本
計画10年
戦略実施
計画
【政策体
系別】実施
計画
【区】進行
管理

区のマップとの対応表

● 福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
第2くまのこ園	H28.4	60人	①
生田ひまわり幼稚園 (幼稚園型認定こども園)	H28.4	50人	②
星の子くるみ保育園	H28.4	16人	③
くじこのはら保育園	H28.4	19人	④
宿河原すみれの花保育園	H28.4	18人	⑤

● 道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
都市計画道路世田谷町田線【登戸工区】	橋りょう整備	事業推進	⑥
都市計画道路登戸2号線【多摩沿線工区】	道路拡幅	事業推進	⑦
主要地方道川崎府中(鹿島田菅線)【枳形・生田工区】	道路拡幅	事業推進	⑧
主要地方道横浜生田(横浜生田線)【東三田工区】	道路拡幅	事業推進	⑨
福生橋交差点の改良	交差点改良などの緊急渋滞対策	H28 着手・完成	⑩
生田緑地の整備	東生田2丁目地区周遊散策路の整備	H29 着手・完成	⑪
	西口広場の第2期整備	H28 着手・完成	⑫

● その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
五反田川放水路の整備	五反田川の洪水全量を地下トンネルで直接、多摩川へ放流する施設(多摩川放流部施設)の築造工事	H31 供用開始予定	⑬
一級河川平瀬川支川の改修	治水安全度向上のための河川の改修	事業推進	⑭
JR稲田駅の橋上駅舎化	駅へのアクセス向上を図るための橋上駅舎化整備	H31 完成予定	⑮
長沢浄水場広報施設の整備	浄水場の施設見学に対応できる広報施設の整備	H29 供用開始	⑯
生田浄水場用地の整備	地域の住民等が利用できるふれあい広場、多目的広場、スポーツ広場の整備	H31以降 供用開始予定	⑰
多摩市民館の改修	市民館の改修工事	H29 工事	⑱
多摩川サイクリングコースの延伸	多摩川サイクリングコースの連続性を確保するための延伸整備	事業推進	⑲
登戸土地区画整理事業	魅力と活力にあふれた市北部の拠点地区の形成を推進するため土地区画整理	事業推進	⑳
向ヶ丘遊園駅南口～たまづらーザ駅 路線バス社会実験	川崎北部地域の輸送需要増に係る路線バス社会実験	H28 実施	㉑

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画に掲載している主な事業や取組）
地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光振興・タウンプロモーション推進事業 ○ 音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業 ○ 多摩区スポーツフェスタ事業 ○ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業 多摩区エコロジーライフ事業 水辺の愛護活動事業 自然体験のつどい実施事業 多摩川環境啓発展示事業 多摩まちかど祭開催事業 区民祭開催経費
災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民防災活動支援事業 ○ 多摩区危機管理事業 ○ 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 ○ 自転車利用マナーアップ促進事業 多摩区動物愛護推進事業
たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多摩区こども総合支援連携事業 ○ 多摩区幼・保・小連携事業 ○ 公立保育所の地域支援推進事業 ○ 多摩区こどもの外遊び事業 ○ 地域子育て交流支援事業 ○ 幼児の発達支援事業 たまたま子育てまつり開催事業 子ども・子育て講演会等事業 親と子の集いの場づくり事業 子育て支援者養成事業 多摩区子育て支援パスポート事業 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業
すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多摩区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 健康づくり推進事業 ○ パサージュ・たま開催事業 精神保健普及啓発事業
市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多摩区地域人材育成事業 ○ 多摩区・3大学連携事業 ○ 区民との協働によるまちづくり活動実践事業 ○ 地域コミュニティの活性化促進事業 ○ 磨けば光る多摩事業 多摩区区民意識アンケート実施事業 市民活動支援事業 公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業
区役所サービス向上事業	<ul style="list-style-type: none"> 窓口サービス改善推進事業
地域課題対応その他事業	<ul style="list-style-type: none"> 共通事務経費
区の新たな課題即応事業	<ul style="list-style-type: none"> 区の新たな課題即応事業